

平成18年度

第3次募集

## 突破の農業経営

道場生追加募集

平成18年10月

愛知県農業会議

# 「突破の農業経営」鍛錬道場 2 期生追加募集

愛知県農業会議

## 1 . 道場設立の趣旨と目的 :

農業経営は、農業のグローバル化、構造改革の波を受けて、21世紀に入り、大きな変革に直面している。この困難を突破するために、創造的に考え、行動する農業経営者を育て、生き生き農業を産み出すために、「鍛錬道場」が昨年開設され、現在25名の道場生が、日々鍛錬を行っています。その中心概念は、産業界や行政で大きな効果を出している「ブレイクスルー思考（突破の思考）」を学び、鍛えることによって、自ら考え、行動し、自らの手で、成功を勝ち取る場を提供することです。また、産業界では常識のMBA（経営学修士）の入門も、タイムライフ大学院のソフトの一部を導入し、実践を通じて鍛えております。

### ブレイクスルー思考とは？

解説：別紙

### MBAとは？

解説：別紙

## 2 . 鍛錬道場プログラムの最終目標 :

一年後に、考え方が変わり、成果を出す。

二年後に、かなりの成果

三年後に、すばらしい成果

## 3 . 師範 :

日比野省三 氏

中京大学大学院教授・日本企画計画学会会長

ひもとあやか 氏

創美C.C.ラボ代表

## 4 . 鍛錬道場の構造 : 3年間コース

初年度・・・白帯コース：初めて学ぶ人

2年度・・・緑帯コース：白帯コースの修了者

3年度・・・茶帯コース：緑帯コースの修了者

3年間の修行を通じて、黒帯を授与する。

黒帯の農業者は、21世紀の日本の農業者として登録され、各分野で指導に当たることになります。

## 5 . 道場の特徴

道場ですので、1期生と2期生が合同で乱取を行い得るよう、どちらのコースにも参加自由とし、2期生が1期生を指導するシステムで実施します。懇親会を毎回行い、発想を豊かにし、創造的な農業を目指します。日頃の付き合いとは、異なった出会いがあります。また、農業以外のレストラン、農業資材メーカー、消費者、食品加工メーカーなど、異業種の方々をメンバーに加えて、響創をいたします。

## 6 . 道場の運営方法

10時半からタイムライフの大学院のビデオを学習し、その後、師範により「ブレイクスルー思考」の講義があり、師範指導のもとで「乱取」(実習)をします。発表会の後、懇親会で質疑応答、交流と響創を行います。

## 7、初心者・・・白帯コースの内容

道場は、毎月第1金曜日とする。ただし11月と5月は第2金曜日とする。

開催最少定員は、20名とする。

- 2006.10.6** 第一回 道場開き、2期生と1期生の合同鍛錬  
1期生の成果の発表と、1期生による指導と乱取、懇親会
- 2006.11.10 第二回 農業MBA「戦略思考」と、ブレイクスルー思考、乱取
- 2006.12.1** 第三回 1期生と合同乱取 農業MBA講座2
- 2007.1.5 第四回 農業MBA考え抜く、乱取
- 2007.2.3** 第五回 1期生と合同乱取
  
- 2007.3.2 第六回 広げぬく：創造的にアイデアを出し、解決策を創る。農業MBA講座  
3
- 2007.4.6** 第七回 1期生と合同乱取
- 2007.5.11 第八回 纏めぬく：落ちのない「しくみ・仕掛け」を考える。農業MBA講座  
4
- 2007.6.1** 第九回 1期生と合同乱取
- 2007.7.6 第十回 やり抜く：いかに困難を乗り越え、進めていくか？ 農業MBA講座  
5
  
- 2007.8.3** 第十一回 1期生と合同乱取
- 2007.9.7** 第十二回 1期生と2期生の成果発表会と帯授与式

上記日程で企画していましたが、現在希望者が9名で開催最低定員20名をきっておりますので、募集期間を12月22日(金)まで引き延ばし再募集します。

なお、20名に達しなくても道場を開講するため現在下記により実施する企画をたてました。

「日程変更」

- 2007.1.5 第一回 道場開き、オリエンテーション  
農業MBA「戦略思考」と、ブレイクスルー思考、乱取
- 2007.3.2 第二回 考え抜く、乱取  
農業MBA講座2
- 2007.5.11 第三回 広げぬく：創造的にアイデアを出し、解決策を創る。  
農業MBA講座3
- 2007.7.6 第四回 纏めぬく：落ちのない「しくみ・仕掛け」を考える。  
農業MBA講座4
- 2007.9.7 第五回 やり抜く：いかに困難を乗り越え、進めていくか？  
農業MBA講座5
- 2007.11.2 第六回 成果発表会と緑帯授与式

なお、緑帯コース(2期生)への参加を自由としました。緑帯コースの日程は下記のとおりです。

- 2006.10.6 第1回 道場開き、成果の発表と、乱取、懇親会
- 2006.12.1 第2回 農業MBAと「考え抜き」・・・乱取
- 2007.2.3 第3回 農業MBAと「広げぬき」・・・乱取
- 2007.4.6 第4回 農業MBAと「纏め抜き」・・・乱取
- 2007.6.1 第5回 農業MBAと「やり抜く」・・・乱取
- 2007.8.3 第6回 農業MBAと総合戦略・・・乱取 成果発表会と帯授与式

この鍛錬道場は、日頃の鍛錬が重要であり、日常に作業の中で、ブレイクスルー思考の実践が義務付けられています。DVDビデオによる道場開催の中間時期の実践指導も行い、周辺の人々への思考習慣化の強化を指導します。また、中間では、DVDビデオで自主的に学ぶことを指導します。

## 7．道場開催会場：

愛知県農業会議 白壁庁舎会議室ほか

## 8．会費：

年間8万円、資料代としては、自習用DVDビデオ5巻とテキスト代が必要です。

## 9．参加資格：

認定農業者・農業経営士・青年農業経営士等で、道場に意欲的に参加出来る人。

## 10．将来の方向：

愛知県からスタートして、今後ブレイクスルー思考を全国的に展開し、農業経営のエキスパートを育成していく。

# 農業道場緑帯コースのご案内

## 1. 農業道場緑帯コースの目的：

一年間の道場で学んできた「ブレイクスルー思考」を、思考習慣化し、周辺の人々に広げて、「飛び出す農業」の実践をし、世界一の農業を達成していきます。

## 2. 何をするか？

一期生として学んだ知識を使い、次の成果を挙げることを目指します。

(1) 個人として、ブレイクスルー成果を挙げる。一つ以上。

例えば、新しい農法を考え、実践する。

新しい顧客、販売ルートを開拓する。

新しい農業モデル(ビジネス)モデルを考え、実践する。

新しい製品を開発する。

新しい農産物を創る。

(2) 農業道場として、合同で仕組みを創る。

例えば、ブロードバンドで、マーケットを創る。

## 3. 課題提出と成果発表：

2006年10月6日の道場開きの時に、全員取り組む課題を発表し、決意を新たにスタートする。飛び出す農業に相応しい成果を目指そう。

2007年8月3日に、成果を発表し、茶帯の授与式を行う。

## 4. 日程：

定例道場開催日は、隔月第一金曜日とする。

2006.10.6 第1回 道場開き、2期生と1期生の合同鍛錬

一期生の成果の発表と、一期生による指導と乱取、懇親会

2006.12.1 第2回 農業MBAと「考え抜き」・・・1期生と合同乱取

2007.2.3 第3回 農業MBAと「広げぬき」・・・1期生と合同乱取

2007.4..6 第4回 農業MBAと「纏め抜き」・・・1期生と合同乱取

2007.6.1 第5回 農業MBAと「やり抜く」・・・1期生と合同乱取

2007.8.3 第6回 農業MBAと総合戦略・・・成果発表会と帯授与式

この鍛錬道場は、日頃の鍛錬が重要であり、日常に作業の中で、ブレイクスルー思考の実践が義務付けられています。DVDビデオによる道場開催の中間時期の実践指導も行い、周辺の人々への思考習慣化の強化を指導します。また、中間では、DVDビデオで自主的に学ぶことを指導します。

**5 . 道場開催会場 :**

愛知県白壁庁舎内会議室

**6 . 会費 :**

年間 8 万円、資料代としては、自習用 DVD ビデオ 5 巻とテキスト代が必要です。

**7 . 特別実践プログラム :**

農業道場での合同プログラムでは、別途チームを結成し、特別プログラムとして、実践することを企画していきます。これについては、日程その他、別途のプログラムになります。

